



まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No.149

平成28年(2016)
11月6日

主な内容

9月定例会のあらまし	2
代表質問	2
一般質問	5
常任委員会の審査報告	10
各会派討論の内容	12
議案採決結果	14
意見書	16
12月定例会予定	16

- 公立認定こども園整備事業など4億844万円の平成28年度一般会計補正予算を可決
- 平成27年度一般会計など各会計の決算を認定



潮風の中を走る
赤れんが
ハーフマラソン2016

9月定例会のあらまし

●平成27年度一般会計は1億4,102万円の黒字決算

平成28年舞鶴市議会9月定例会は8月30日に開会。10月6日までの38日間開催し、市長から提案された平成27年度の一般会計・特別会計の決算、平成28年度補正予算や条例制定、人事案件などの21議案を審議し、いずれも原案のとおり可決・認定・承認としました。また、議員提案の意見書1件も可決しました。(採決結果は14・15頁)

平成28年 舞鶴市議会 9月定例会代表質問

平成28年9月8日

順番	質問方式	会派名及び氏名	質問事項
1	一括	日本共産党議員団 石束 悦子	1 舞鶴から平和を発信することについて
			2 憲法改悪の動きについて
			3 安保法制の具体化と自衛隊派兵について
			4 原発事故から市民のいのちと安全を守ることにについて
2	一括	創政クラブ議員団 谷川 眞司	1 北陸新幹線京都府北部ルート誘致の取り組みについて
			2 クルーズ客船の受け入れ強化について
			3 舞鶴市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
			4 0歳から15歳までの切れ目ない質の高い教育の充実について
			5 交流拠点の整備について
			6 ユネスコ世界記憶遺産登録後の取り組みについて
3	一括	公明党議員団 小谷 繁雄	1 地方創生について
			2 西地区のまちづくりについて
			3 災害の対応について
			4 障がいのある人もない人も共に安心して暮らせるまちづくりについて
4	一括	鶴翔会議員団 田村 優樹	1 舞鶴市の魅力について
			2 市政の公開と透明化の強化について
			3 指定管理者制度について
			4 クルーズ客船の寄港について
			5 成人式について
5	一括	新政クラブ議員団 岸田 圭一郎	1 健全な財政運営について
			2 京都府北部地域連携都市圏構想について
			3 市民の安全対策について
			4 舞鶴産のお茶の振興について
			5 次世代への舞鶴市の魅力のPRについて

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。

※一 括・・・質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式

平成28年9月8日に本会議を開き、各党派が代表質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

代表質問

舞鶴から平和の発信を



日本共産党議員団
石束悦子

質問 ①平成2年舞鶴市議会での核兵器廃絶平和都市宣言の決議に対する市長の考えは。②引揚記念館における戦争の原因などの表示不足とソ連抑留の史実をどう考えるのか問う。

答弁 ①核兵器廃絶は、我が国全ての国民の悲願である。②若い世代にも理解しやすい展示の充実に努める。また、史実を後世にしっかりと継承すべき。

原発の不安から命守って

質問 ①3月の原子力関係閣僚会議で「30キロ圏内においても、5キロ圏内同様に緊急時に安定ヨウ素剤の配布が困難と想定される地域は、自治体の判断で事前配布できる」と



1,563人のうち137人が小学校に避難訓練

ある。8月の訓練状況から混乱は明らか。30キロ全域の市民に配布すべきでは。②原子炉容器の強度不足が指摘され、40年経過の高浜原発の再稼働に反対すべきでないか。

答弁 ①PAZに準じた4地区に事前配布しているが、UPZ全域の配布は考えていない。②容認はしていない。関電や原子力規制庁の説明では安全性の理解が深まっていない。

北陸新幹線舞鶴ルート実現

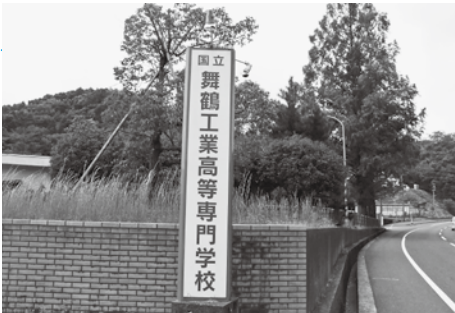


創政クラブ議員団
谷川眞司

質問 現在の京都府北部ルート誘致の取り組み状況と、今後、実現に向けた山陰地方との連携を含めどのように展開を考えているのかを問う。

答弁 去る、7月30日、鳥取市において、「山陰新幹線の早期実現と北陸新幹線京都府北部ルートの決定を求める決起大会」が衆議院議員石破茂会長のもと開催された。京都府北部ルートを実現し、山陰新幹線を接続していくことが、日本海側地域の発展と日本の国益につながる

と伝えた。



国立舞鶴工業高等専門学校

舞鶴高専就学者への支援を

質問 舞鶴工業高等専門学校の生徒が、卒業後もできる限り本市に就職してもらうことが望ましいと考える。舞鶴高専へ進学を希望する学生に向けて、市として何か支援策を講じる考えはないか問う。

答弁 経済的な事情などにより進学が困難な学生に対し就学の機会を保障するとともに、本市の技術系の人材確保を図ることを目的として、現在、支援策の検討を進めている。

災害時の情報伝達と対応策の充実を



公明党議員団
小谷繁雄

質問 避難勧告などを発表するための判定基準について、また、災害時の家屋のり災証明発行などに必要となる被災者支援システムの導入について問う。

答弁 避難勧告などの判定基準を9月に暫定設定し、運用開始している。また災害時の迅速な対応として、このシステムを活用し、被災者の生活再建が速やかに支援できるよう取り組んでいく。

安全・安心のまちづくりを

質問 障がいのある人もない人も共に安心して暮らせるまちづくりをする上で、相模原市で発生した事件の対応として、本市の障害者施設、グル

ープホームの防犯対策について、また、障がい者の就労対策について問う。

答弁 市内の警察、病院、行政などの関係機関が連携し、地域の方のご協力のもと、社会全体で障害のある方々の安全・安心の暮らしの確保に向け、全力で取り組んでいく。また、働く場の確保についても「障害者就労支援検討会」を立ち上げ、市独自の就労支援策を議論していく。



共に安心して暮らせるまちづくり

代表質問 意見交換会の実施報告

平成28年9月8日に本会議を開き、各会派が代表質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

指定管理施設評価表の 改善を求める



鶴翔会議員団
田村 優 樹

質問 平成26年度から実施されている指定管理施設の年度評価表は、全て記入済みが10件、サービスの向上、経費削減、施設の維持管理等の意見なが6件、ほとんど記入されていないのが4件の状態である。中には、約650万円の赤字経営が認められる施設もある。所管課と選定委員会による評価の違いなども疑念であり、市民にきちんと周知すれば到底理解できないという意見が出るのではないか、市民が納得しうる明確な理由、十分な説明責任、市民の「知る権利」を尊重するために、現行の評価結果表に総合的な所感、講評を加え、正しくご理解いただけるよう改善する考えはないか。

答弁 赤字経営に対する監督義務については、必要な助言・指導を行い改善を図る。年度評価表の公開内容については、制度の透明化を図られているものと認識しており、ご理解いただくのに必要であれば、担当課において丁寧の説明したい。

指定管理施設年度評価表



指定管理施設年度評価表

市税の減収が見込まれる中、財政対策は



新政クラブ議員団
岸田圭一郎

質問 平成27年度一般会計決算が確定し、実質収支額が1億4千万円と示されたが、市税が前年度より4億円以上減収しており、今後も減収が見込まれることは大変厳しい財政状況と考える。「飛躍元年」「行動元年」と位置付けられた本年度や来年度以降の財政対策を問う。

答弁 市税収入は、毎年、数億円程度減少していくと見込み、歳出は扶助費や繰出金などにより増加すると認識しているが、雇用の拡大、移住・定住の促進、さらには企業誘致を推進し、

税収の拡大を図っていく。

債権管理適正化の成果は

質問 効率的でスピード感のある行政の確立は不可欠で、行財政改革の一つである財源確保のため債権管理の適正化に取り組まれたが、その成果を問う。

答弁 市民負担の公平・公正および財源を確保するため、債権管理条例を制定し、債権管理課を設置することで、債権管理の適正化を図り、5年間で約5億円、前年比1億4千万円削減した。



市役所 債権管理課

平成28年 意見交換会を 実施しました。

舞鶴市議会では、市議会および議員の政策提案機能の強化・拡大を図るとともに、議会活動を広報する機会とするため、市議会の常任委員会の委員をメンバーとする班に分かれ、所管する分野のテーマを設定して、市内で組織的に活動されている団体と意見交換会を行いました。

●総務文教班（6人）

【実施日】

平成28年7月19日（火）

【テーマ】

子どもたちの夢達成に向けたサポートについて

【参加者】

舞鶴市PTA連絡協議会（8人）

●経済消防班（7人）

【実施日】

平成28年7月20日（水）

【テーマ】

商店街の振興について

【参加者】

商店街団体など（8人）

●民生環境班（7人）

【実施日】

平成28年7月21日（木）

【テーマ】

よりよい保育環境づくりについて

【参加者】

舞鶴市民間保育園連盟（12人）

●建設班（7人）

【実施日】

平成28年7月13日（水）

【テーマ】

舞鶴・これからのまちづくりについて

【参加者】

舞鶴工業高等専門学校学生（11人）



平成28年9月9日、12日に本会議を開き、12人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

平成28年 舞鶴市議会 9月定例会 一般質問

平成28年9月9日、12日

順番	質問方式	氏名	質問事項
1	2分割	今西 克己	1 京都府庁知事部局の機能移転誘致について
			2 加佐地域農業・農村活性化センターについて
			3 商店街の振興について
			4 職員労働団体について
			5 市役所庁舎前の植え込み部分の転用整備について
2	一括	山本 治兵衛	1 西舞鶴のまちづくりについて
			2 北陸新幹線京都府北部ルート誘致について
			3 企業誘致について
			4 科学技術に関する教育について
3	一問一答	松岡 茂長	1 原発問題について
			2 臨時財政対策債について
			3 障害者の外出支援について
4	一問一答	後野 和史	1 まちづくりと大規模小売店舗の新設について
			2 京都府北部地域連携都市圏と海の京都DMOについて
			3 北陸新幹線誘致と並行在来線について
			4 市財政について
5	一括	杉島 久敏	1 中学生の部活動について
			2 グラウンドゴルフについて
			3 地域ブランドについて
			4 バス停の整備について
6	一括	西村 正之	1 観光のまちづくりについて
			2 公共交通の展望について
			3 かんぼの宿について
			4 債権管理適正化の進捗状況について
			5 幹線道路の整備について
7	一括	水嶋 一明	1 農林水産業の振興について
			2 日本海側拠点港の実現について
			3 危機対応能力の強化について
8	一括	高橋 秀策	1 乳幼児教育について
			2 職員派遣の成果と今後について
			3 公共施設トイレの改修について
			4 自治会振興交付金について
9	一問一答	亀井 敏郎	1 市民病院について
			2 定住促進と地域振興について
10	一問一答	小杉 悦子	1 原子力災害から市民のいのちを守ることにについて
			2 社会的弱者の方々と共に地域社会で生きることについて
			3 介護保険について
			4 国民健康保険について
11	一問一答	眞下 隆史	1 原子力防災避難訓練について
12	一問一答	伊田 悦子	1 本市の雇用環境について
			2 子どもの貧困対策について
			3 公立認定こども園について

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。

※一 括 … 質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式
 ※2 分 割 … 質問項目を分野ごとに2回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式
 ※一問一答 … 質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

一般質問

平成28年9月9日、12日に本会議を開き、12人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。



京都府港湾部局の移転を

京都府庁知事部局の
機能移転誘致は



新政クラブ議員団
今西 克己

質問 中央政府機関の地方移転に関し、京都府は、誘致活動を強力に進めてきた結果、本年3月に文化庁の京都府移転が決定した。本市も地域特性を活かしていくためには、舞鶴港など港湾の管理整備を業務分掌とする建設交通部港湾課を本市に誘致すべきと考えるが市の考えを問う。

答弁 京都舞鶴港のさらなる振興を図るた

めには、関係団体と京都府の港湾担当部局が港に所在し、ハード・ソフト両面の連携が必要と考えており、去る9月5日に、市長が知事に対して港湾部局の本市への移転を要望した。

加佐農村活性化センターは

質問 現地窓口の設置、担当スタッフ、地域おこし協力隊員が常駐配置され、鋭意活動しているが、活動の現状、業務内容およびその評価を問う。

答弁 各種体験事業や6次産業化支援などによる地域の魅力発信と副業づくりなど、地域の活性化支援に取り組み、地域おこし協力隊員も荒廃農地の再生事業に自ら取り組むなど鋭意活動している。

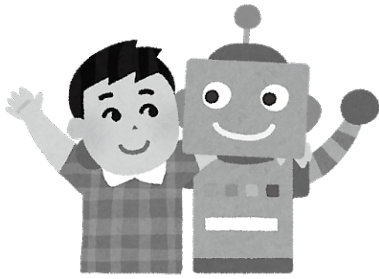
高野川の治水対策は
早急に取り組みを



創政クラブ議員団
山本治兵衛

質問 西舞鶴の市街地区域は河川の氾濫などにより被害を受けてきたが、高野川治水対策協議会が立ち上がり、治水の取り組みが始まっているが、対策状況とスケジュールについて、問う。

答弁 多くの被害が発生しており、早期の対策が必要と認識している。治水対策協議会では府と市が連携・調整して対策を推進し、平成29年度には基本方針、整備計画を策定し、平成30年から取り組めるよう協議を行った。市は浸水被害軽減に積極的に取り組む。



科学技術教室の開催を

学力向上に科学技術教育を

質問 市内で課外教室の一環でロボット研究室が開催されているが、市が科学技術に触れる機会を作り出すことは学力向上に寄与すると考える。市内を対象とした科学技術教室を開催してはどうか。

答弁 国は科学技術人材の育成を重要政策課題の一つとしており、本市でも様々な教室を実施している。市としても高等教育機関や各種団体と連携を図り、科学に関する興味を持つる取り組みを進める。

安定ヨウ素剤の
事前配布検討を



鶴翔会議員団
松岡 茂長

質問 安定ヨウ素剤は原発事故の際、甲状腺の内部被ばくを抑える効果があるが、副作用の心配もある。大混乱の避難場所、看護師などの簡単な問診だけで配布することは逆に危険性が増すのではないかと、むしろ日頃時間のあるときに、医師による問診や説明をしっかりとやって、各戸に事前配布する方が、危険性も住民の不安も

質問 安定ヨウ素剤は原発事故の際、甲状腺の内部被ばくを抑える効果があるが、副作用の心配もある。大混乱の避難場所、看護師などの簡単な問診だけで配布することは逆に危険性が増すのではないかと、むしろ日頃時間のあるときに、医師による問診や説明をしっかりとやって、各戸に事前配布する方が、危険性も住民の不安も

聾学校の通学支援を厚く

質問 9月1日から障害児通学等支援事業が開始。府立聾学校舞鶴分校の通学児童は支援対象に届かない。緩和措置が取れないか。またスクールバスでの通学はできないか。

答弁 対象は、重度心身障害児で一人親家庭などのため介助者がいない場合としている。スクールバスは通学範囲が広域となり実現には至っていない。



原発・安定ヨウ素剤配布訓練

平成28年9月9日、12日に本会議を開き、12人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

在来線の経営分離
新幹線建設の与党合意



日本共産党議員団
後野 和史

質問 新幹線建設で在来線のJRからの経営分離が法の規定もないのに政府・与党合意で条件付けられているが、撤回させるべきだがどう対応するのか。

答弁 関西広域連合と京都市は経営分離しないこと、国と地方の負担の見直しを国に求めており、歩調を合わせて取り組んでいく。

大型店新設の全容を

質問 ダイワボウ跡地に大型店舗を新設するとジュンテンドー社が住民に説明会を開催したが、市は事前協議しているのか。

答弁 法には生活環境保持の規定はあるが、住民の同意はない。市として市民の意見をつかんで反映させるべきではないか。建設予定地周辺の国道・市道は安全に問題があり、城南中学への影響が考えられるがどうか。

答弁 企業の内部情報であり答弁できない。生活環境保持の観点からの意見は反映させる。一般論だが市民の安心・安全の確保は、市の責務と認識しており、これまでから府に意見を述べている。



ダイワボウ跡地

舞鶴特産品の
地域ブランド化推進



公明党議員団
杉島 久敏

質問 観光振興施策として、商品の品質が保証され価格の維持・向上が期待できる「地理的表示保護制度」の活用は生産者、消費者の双方にメリットを与え、海外展開にも役立つことが考えられる。舞鶴の特産品の登録申請を推進する取り組みを展開してはどうか。

答弁 登録されれば市場評価も高まり、海外を含む商談機会の拡大、舞鶴の知名度向上、生産者の栽培意欲向上や収入安定につながるから登録申請に取り組みたい。

答弁 企業の内部情報であり答弁できない。生活環境保持の観点からの意見は反映させる。一般論だが市民の安心・安全の確保は、市の責務と認識しており、これまでから府に意見を述べている。

バスシエルター設置整備を

質問 少子高齢化に伴う人口減少により、公共交通バス利用は高齢者中心となっている。通勤、通学、通院や買い物の際に便利さと快適さを感じていただくために、早急にバスシエルターの設置を必要があると思われるが市の考えを問う。

答弁 道路安全上や建築基準上の課題があるため現在、課題クリアに向けた要件の緩和について京都府へ要望。市民ニーズに合わせた環境改善に交通事業者と連携して取り組む。



西舞鶴駅前バス停風景

幹線道路の整備は



会派に所属しない議員
西村 正之

質問 現在の「白鳥トンネル」の前後には歩道も無く、特にトンネル内は、幅員が狭く歩行者や自転車の通行が非常に危険な状況となっている。事業主体である京都府において、府道小倉西舞鶴線「白鳥トンネル」区間の4車線化が事業化され、渋滞の解消と歩道設置による通行の安全が図られると伺っているが、整備計画の内容と現在の進捗状況について問う。

答弁 「市道北吸森線」の交差点から「市道上安天台線」の交差点までの約1.4kmの区間を、道路幅員17.5m、車道4車線と片側歩道を整備する計画となっている。現在、用地買収の手続きが進められており、順調に用地買収が進捗すれば、早ければ来年度には一部工事に着手して事業を進めると京都府から伺っている。

答弁 「市道北吸森線」の交差点から「市道上安天台線」の交差点までの約1.4kmの区間を、道路幅員17.5m、車道4車線と片側歩道を整備する計画となっている。現在、用地買収の手続きが進められており、順調に用地買収が進捗すれば、早ければ来年度には一部工事に着手して事業を進めると京都府から伺っている。

答弁 「市道北吸森線」の交差点から「市道上安天台線」の交差点までの約1.4kmの区間を、道路幅員17.5m、車道4車線と片側歩道を整備する計画となっている。現在、用地買収の手続きが進められており、順調に用地買収が進捗すれば、早ければ来年度には一部工事に着手して事業を進めると京都府から伺っている。



渋滞する白鳥トンネル

平成28年9月9日、12日に本会議を開き、12人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問



救助ヘリコプター

ヘリコプターの 防災対応離着陸場は



新政クラブ議員団
水嶋 一 明

質問 地震や風水害など大規模災害時における救助ヘリコプターの離着陸場および駐機場の個所数と運用を尋ねる。

答弁 舞鶴市地域防災計画で、ヘリコプターの緊急離着陸地は、海上自衛隊舞鶴航空基地や舞鶴海上保安航空支援センターのほか、小・中学校グラウンドを中心に計43カ所を定めている。

また、本市には対応可能な駐機場がある中で、適切に対応する。災害時のヘリコプターの運用は、いざと言う時のスムーズな派遣要請や運用につなげるため、日頃から訓練などを通じて、京都府や自衛隊などと積極的に連携していきたい。

ツキノワグマの対策は

質問 万全の態勢をとって、人的被害が出ないよう努めるべきであるが、その対策は。

答弁 クマに遭遇しないための注意点や対処方法などを記した文書の自治会への配布や広報車で周知している。今後とも、京都府や猟友会などと連携し、人的被害の未然防止に全力を尽くす。

北陸新幹線誘致と 東京事務所の成果



創政クラブ議員団
高橋 秀 策

質問 新幹線 港・高速道路・企業誘致・観光

客誘致・クルーズ船などの諸課題に東京事務所との役割は大変重要である。3年目となる事務所の役割や成果について尋ねる。

答弁 中央省庁や関係機関と連絡調整を図



北陸新幹線

るとともに、企業誘致や港湾振興、観光振興など効果的な事業推進を図り、この間、海フェスタ京都、ユネスコ世界記憶遺産の登録、日本遺産認定、クルーズ客船の発着回数増加、国際フェリー航路の開設、農林水産物のPRなど、多くの成果を上げてきた。新幹線誘致にも最大限機能を発揮し鋭意取り組んできた。

公共施設のトイレ改修は

質問 トイレはその建物の顔と考えるが、整備の予定を尋ねる。

答弁 文化公園体育館については、東京オリンピック海外代表チームの事前合宿などの誘致を進める中で検討するほか、西支所については、空調設備、受電設備など老朽化が著しい緊急性の高い設備改修を計画的に進める中でトイレ改修を行う。

自治体病院が 果たすべき役割とは



鶴翔会議員団
亀井 敏 郎

質問 舞鶴市病院事業の設置条例では、

「市民の健康保持に必要な医療を提供するため、病院事業を設置する」また、経営の基本では「病院事業は常に企業の経済性を発揮するとともに、公共の福祉を増進するように運営されなければならない」と規定しているが、現状では、この規定と大きく乖離していると考えることから、市の見解を問う。

答弁 市民病院は市内に不足する慢性

期医療を担う病院として療養病床に特化した運営を行い、他の公的病院や介護福祉施設との連携により地域医療に貢献している。

いつまで続く赤字経営

質問 平成27年度決算でも依然として多額の繰り入れが行われている。これでは、試算表に見る平成28年度からの赤字転換は望めない。市の見解を問う。

答弁 平成28年度における収支は、交付税措置を考慮しても約3千万円の不足が見込まれる。今後、地域において存在価値のある病院となるよう不断の努力を続ける。



存在価値が問われる市民病院

平成28年9月9日、12日に本会議を開き、12人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

市民の知恵集め 実行可能な避難計画を



日本共産党議員団
小杉悦子

質問 8月27日に原

子力防災訓練が実施された。避難時集結場所の大浦小学校体育館は、19自治会、685世帯、1553人が対象だ。体育館に入れない住民が受付し、安定ヨウ素剤配布のための問診表に記入し、安定ヨウ素剤の配布を受けることが可能か。対象世帯・人数が多い避難時集結場所では困難が想定されるかどうか。

答弁 状況によって校舎の活用を考えてい



原発避難訓練 大浦小

避難手順で、内部被曝・外部被曝を避ける服装などを示している。②早期防護措置は本市年間平均の約500倍、緊急防護では、1万2千500倍である。

安全性の再検討を

質問 避難者は服や靴などから、屋外の放射

射性物質を持ち込み、体育館は、放射性物質が蔓延する状態になる。①避難時集結場所の安全性をどのように考えているのか。②避難指示が出る状態の「基準値を超える放射線量」とはどういう数値か。

答弁 ①参加者には

原子力避難に対し 今後の市の考え方



新政クラブ議員団
眞下隆史

質問 本年8月大浦

地域を対象とした原子力防災広域避難訓練では、新たな取り組みで通所施設の参加や、荒天のため中止になったが、全国初となる関西電力のチャーター船による避難など、一歩進んだ訓練と評価している。今後とも訓練で得た改善点をもとに、市民

へ避難行動の習得・市行政が対応可能な項目・国府への要望などに分類し、積極的に取り組むべきと考えるが市の見解を伺う。

答弁 今回の訓練をしっかりと検証し今後も地域ごとの訓練を年次的に行い避難計画の実効性を高め、市職員が直接地域などに向いて説明や意見交換を行う「まちづくり出前講座」などを通じて積極的かつ丁寧な実施していく。避難道路の整備は必要であり今後も引き続き脆弱な道路の改良・拡幅・バイパス化・延長などを国府に要望していく。「安全には終わりが無い」をもとに市民の命を守る責務がある市として、安全・安心を確保できるように取り組む。



原子力防災広域避難訓練

関係者の合意のもと 認定こども園移行を



日本共産党議員団
伊田悦子

質問 公立認定こども園開設に向け、子ども

も若者支援会議で、移行基本方針に委員全員の賛同が得られなかった。民間園の合意を得るため丁寧な説明、議論が不十分だったのでは。そこで①市長自ら合意形成を得るため働きかけはされたのか。②保育・幼児教育を担う点においては、公立・民間園同じ。民間園への支援充実の要求にどう応えるのか。

答弁 ①これまで市

長に報告し指示を仰いできた。近く、直接市長が意見を聞かせてもらう予定。②意見・要望は伺っている。今後もしっかり聞き、実現させるものについては取り組んでいく。

就学援助制度の周知徹底を

質問 子どもの貧困

が大きな社会問題となっている中、就学援助制度の周知方法を広げ徹底を図るべき。
答弁 入学前・入学時に全保護者に説明。学校だより・市ホームページで制度の概要紹介。経済的な生活状況の変化を担当がつかみ、相談に応じる中で制度説明するなど、今後とも丁寧な対応を実施。



子どもたちの支援充実を

本会議において付託された議案は、予算決算委員会16件、民生環境委員会1件、建設委員会2件、総務文教委員会1件であり、それぞれの委員会で審査しました。

予算決算委員会

議案16件のうち、11件を全員賛成、5件を賛成多数で可決、承認、認定

平成27年度舞鶴市一般会計決算の認定について、法人市民税が国の法人税額の増にもかかわらず減となった要因として、26年度の税制改正により、27年9月末決算の法人の申告分から、税率が引き下げられたこと、また、一部製造業の法人の税額が、26年度に比べ大きく減少したことが影響したもので、法人税割全体で約3千2百万円の減となったこと。

25年度から27年度の法人税額の税額の増加率については、運輸業が97%、宿泊・飲食業が34%、サービス業が10%増加していること。地方創生先行型推進事業費のうち、自衛隊と連携した地域資源の観光ブランド化事業に

ついては、遊覧船乗客数が約4千人、自衛隊施設見学者数が約6万3千人増加していること。また、道の駅観光戦略拠点化事業については、来場者数が約88万4千人で、26年度から10万6千人増加していること。

夢チャレンジサポート事業の学力チャレンジの効果については、生徒の学習改善と教師の授業改善などにおいて、生徒の学力向上に寄与していると考えているなどの答弁がありました。

討論では、反対の立場から、交流人口の増加により、本市において115億円の観光消費があったとのことであるが、市税において法人市民税は減となっており、経済効果へのつながりが見えてきていないこと。また、特色ある教育環境づくり支援事業における日星高等学校の

特進コースへの補助や、夢チャレンジサポート事業における学力チャレンジテスト、検定チャレンジテストなどの事業は、一部のできる子どもたちへの支援とテストで競争をおおることにつながるものであると考えること。

一方、賛成の立場から、地域が有する魅力・特性を最大限に生かし、心豊かに暮らすために必要な、子育てしやすい環境の整備や、都会並みの質の高い教育、医療の充実など、数多くの事業に取り組み、成果を上げてきていること。

28年度への繰越財源2億4千682万円を差し引いた実質収支額は、1億4千102万円の黒字決算となっており、厳しい財政状況の中、関係者の努力を評価するなどの意見がありました。次に、平成27年度舞鶴市病院事業会計決算

の認定については、討論において、反対の立場から、病院事業の収支は、医療収益と医療費用のバランスで病院経営について判断すべきものと考え、27年度決算においては、医療損失は約2億8千9百万円であり、医療外の一般会計からの補助金や長期前受金戻入を算入した決算では、病院経営の本当の姿が分からなくなる危険性があるなどの意見。

賛成の立場からは、中丹地域医療再生計画に基づき、市内の公的病院や介護施設などとの連携を図り、市民に求められる病院として、療養が必要な患者を対象に市内の方を中心に受け入れ、病床利用率のアップや経費削減に積極的に取り組まれた結果、一般会計からの収益的収支に係る補助金は、26年度と比較して、2億7千431万円の減となっているな

どの意見がありました。次に、平成27年度舞鶴市国民健康保険事業会計決算の認定については、討論において、反対の立場から、国保料を払えない世帯に発行されている資格証は135にも上り、短期証は705世帯に発行されていることから厳しい市民生活がかかえる。市民の命に直接かかわる国保の負担軽減を求めるなどの意見。

一方、賛成の立場から、国民健康保険は、構造的な課題を抱えている中でその運営は大変であるが、収納率については、26年度を上回ったことを評価するなどの意見がありました。

次に、平成27年度舞鶴市介護保険事業会計決算の認定については、討論において、反対の立場から、27年度に国により介護環境を大きく変えられたと考えるおり、さらに制度改正

を進めようとしていることに対して、介護保険事業の実施主体である舞鶴市が国に意見すべきと求めたが、従来どおりの答弁しか得られなかったことは、安心できる介護事業を進めていくことにならないなどの意見がありました。

次に、専決処分承認を求めることについて（平成28年度舞鶴市一般会計補正予算（第2号））では、討論において、賛成の立場から、B型肝炎ワクチン予防接種は、市の支援により、感染による慢性肝炎や肝硬変、肝がんの防止など、人から人への感染を防ぐ予防接種の効果を構築することが大切であるなどの意見がありました。

次に、平成28年度舞鶴市一般会計補正予算（第3号）について、討論において、反対の立場から、企業誘致実現プロジェクト事業は、

現プロジェクト事業は、

本会議において付託された議案は、予算決算委員会16件、民生環境委員会1件、建設委員会2件、総務文教委員会1件であり、それぞれの委員会で審査しました。

水道使用量が月2万立方メートルを超える新規立地企業および既存企業に対して水道料の一部を補助するものであるが、10月から市民には水道料の引き上げを押し付け、企業には補助を行うことは認められないこと。

公立認定こども園整備事業については、保護者、市内の民間保育・幼稚園関係者、職員、市民それぞれの立場からの理解を得る必要があること。また、1号認定者の利用料や職員の給与体系などの課題があると考えており、市民合意のないまま進めることは認められないとの意見。

一方、賛成の立場から、企業誘致実現プロジェクト事業については、今後期待される企業の誘致に対し、課題の一つである水道料金を、他都市との競争に負けない価格にする必要であるとの意見。

また、公立認定こども園整備事業は、多様な保育・教育のニーズに応えるものであり、若者会議や関係者団体などのヒアリングを通じて、私立の幼稚園、保育所の不安や誤解を解消し、基本方針の修正にも応じるなど、理解を深められた努力を評価するとの意見がありました。

見。

また、公立認定こども園整備事業は、多様な保育・教育のニーズに応えるものであり、若者会議や関係者団体などのヒアリングを通じて、私立の幼稚園、保育所の不安や誤解を解消し、基本方針の修正にも応じるなど、理解を深められた努力を評価するとの意見がありました。

次に、平成28年度舞鶴市簡易水道事業会計補正予算（第1号）は、討論において、賛成の立場から、国庫補助金が既決予算を下回ったための減額であり、統合時期が平成30年に延長されたことは理解するが、現行の簡易水道施設の利用料金が、統合されると一挙に4割程度の引き上げになり、市民生活に大きな影響を与えることから、激変緩和措置が必要と考えるなどの意見がありました。

また、公立認定こども園整備事業は、多様な保育・教育のニーズに応えるものであり、若者会議や関係者団体などのヒアリングを通じて、私立の幼稚園、保育所の不安や誤解を解消し、基本方針の修正にも応じるなど、理解を深められた努力を評価するとの意見がありました。

民生環境委員会

環境衛生プラント建設工事の請負額を変更

舞鶴市環境衛生プラント建設工事に係る請負契約の変更は、現在整備中の同建設工事用地において、環境基準を超える鉛が検出されたため、その土壌の処分費や処分に伴う工事中止期間中の現場維持費などが発生したことにより請負額が増加することから、契約額を増額するものであるなどの説明を受けました。

建設委員会

（仮称）西運動公園の整備工事に係る請負契約を締結

舞鶴市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例制定は、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」の一部改正に伴い、この規定を引

用する当条例の一部を改正するもので、同法に関係する店舗の営業について、その営業形態に応じた規制を行うものであるなどの説明がありました。

質疑において、この改正により、本市の地区計画において「既存不適格」は生じないなどの答弁がありました。

次に、（仮称）西運動公園の整備に係る工事請負契約について、（仮称）西運動公園は、平成29年度中の完成、供用開始を目指し、約4・8ヘクタールを運動公園として現在整備を進めていること。その中で、今回、多目的人工芝グラウンドの整備について工事請負契約を締結するものであるとの説明がありました。

質疑において、この多目的人工芝グラウンドは、一般のサッカー競技が可能な、府北部では初めてとなる68メートル×105メートルのフルピッチ規格であり、長期的な安定性を持つ人工芝を使用するなど、快適な競技環境を提供できると考えられているなどの答弁がありました。

総務文教委員会

市の入札及び契約に係る手続を適正化

舞鶴市入札監視委員会条例の一部を改正する条例制定は、市の入札及び契約の手続について適正化を図り、その機能を強化するため、入札監視委員会の所掌事務に「市が発注した建設工事における入札及び契約の手続に係る再苦情の申立てについて審議を行うこと」を追加し、入札・契約手続の改善に関する審議などの範囲を拡大するため、所要の改正を行うものであるとの説明がありました。

質疑において、入札監視委員会は、建設工事の入札や契約手続の透明性・公正性の確保を図るため、第三者によるチェック機関として、現在、学識経験者3名で構成されており、半年に1回、公開で開催されていること。

今回、入札監視委員会の機能を強化することにより、今後、市が取り組もうとする入札・契約手続の改善に係る重要なものについて、第三者としての意見をいただくものがあるなどの答弁がありました。

討論において、この改正は、入札の透明性・公正性を強化するものであり賛成するとの意見がありました。

質疑において、入札監視委員会は、建設工事の入札や契約手続の透明性・公正性の確保を図るため、第三者によるチェック機関として、現在、学識経験者3名で構成されており、半年に1回、公開で開催されていること。

10月6日の最終本会議において、提案された議案に対して各会派が討論をしました。

病院事業会計に反対

鶴翔会議員団
田村 優 樹



今定例会に提案された第71号議案、平成27年度舞鶴市病院事業会計決算の認定について、反対の立場を表明し討論する。市は、新市民病院の収支は3年後を目途に黒字転換するとした試算表を公表してきた。更に、「試算表に間違いはない、収支はほぼ均等に推移し、市からの多額の経営支援は要らない。」とまで固執され、赤字は大幅に改善されると答弁されてきた。対して我々は、かねてより「新市民病院の収支の見込み、試算表に無理がある。どう考えても年間約

3億円の赤字になる。」と指摘してきた。あれから4年、平成27年度の医業損失は約2億8900万円というのが実態である。市民病院が自治体病院として市民の役に立つ病院として見直され、新市民病院の方針を決める段階で議会に示された試算だけに事は重大である。指摘が現実のものとなった以上、試算の見直しを早急に示すなど、誠実な対処がなされない限り承認はできない。



市立舞鶴市民病院

公立認定こども園整備事業に期待

新政クラブ議員団
和 佐 谷 寛



第64号議案から第83号議案の全議案に賛成する。「公立認定こども園整備事業」については、舞鶴幼稚園と西乳児保育所を集約し、両機能を持った「認定こども園」を整備することにより、保護者の就労など家庭状況にかかわらず、同じ施設に通園でき、0歳から就学前まで本市の乳幼児教育センターとしての機能を発揮し、質の向上を図ることになる。その整備にかかわる施設調査及び設計業務の委託経費であり、期待する。また、市内の乳幼

児教育の大半は、私立の幼・保育園に委ねられており、これらの園と共存し、質の高い保育行政の展開を期待する。「農村移住者受入事業」については、農村への移住を促進するため、府の新制度では対象とならない農村地域への市内転居について、市独自の支援策を創設し、地域の担い手の確保や農村地域の活性化を図るものであり、本市農業の発展の一助となり、評価する。



子育て支援の充実を

市民の暮らし支える施策の充実を

日本共産党議員団
小 杉 悦 子



4議案は反対及び認定できない。27年度は「交流人口300万人、経済人口10万人都市を目指す」ことに重点を置いた予算で、「京都市府北部圏域入込客数が、約1千万人、圏域消費額が約224億2千万円で、舞鶴では115億円の消費効果があった」とされた。しかし経済効果が27年度決算では見えていない。これが地域経済の活性化につながり、所得の増加による市税収入の増加にどう反映するかが問われる。国保事業、介護保

大企業応援は認めない

28年度一般会計補正予算は、水道使用料を新規立地企業及び既存企業に補助する新規事業がある。10月から市民には水道料の引き上げを押し付け、大企業には、水道料の補助を行うことを認めることはできない。



市民の願に応える市政を

10月6日の最終本会議において、提案された議案に対して各会派が討論をしました。

討論

舞鶴市議会における災害対応について

新しいまちづくりへの取り組みを評価



創政クラブ議員団
肝付 隆治

今定例会に上程された全議案に賛成する。平成27年度は、教育、子育て、福祉、観光振興、産業振興などに多方面で新しい事業に取り組みました。市税収入が減少傾向にあり、本市財政を取り巻く厳しい情勢の中にあつて、これらの事業を実施するため、行財政改革に積極的取り組み、また利用可能な補助金制度をいち早く申請し認可を受けるなど財源の確保に努め、実質収支が、1億4千102万円の高く評価すること

市民病院の経営改善を評価

一般会計から病院事業会計への補助金は、1億7千512万円で前年度から58・2%減少した。これは、平成18年度以降の旧市民病院時代の補助金が10億円を超えていたことと比較すると、新病院開設2年目でその約1割以下まで減少させたことは、病床利用率の向上や経費節減など、病院運営にかかわるすべての職員の懸命の努力によるものであり、高く評価できる。



子育て交流施設・うみへのもり保育所

舞鶴の特性を生かす取り組みを評価



公明党議員団
上羽 和幸

全議案を認定、賛成する。専決処分は乳児へのB型肝炎予防接種であり、漏れがないよう努力願う。27年度一般会計決算は、舞鶴の特性を生かし定住と交流促進に取り組みなど評価する。子育て施策の充実を評価。ユネスコ世界記憶遺産は平和貢献と知名度や活性化に寄与いただいた。京都府北部地域連携は産業振興などの基盤整備に努めるとともに、北陸新幹線舞鶴ルート促進に尽力いただいた。この地域を外して新幹線整備はあり得ず、今後



舞鶴引揚記念館

強い。決算の実質収支は黒字で健全である。課題の経常収支比率は2・9ポイント改善したが、2年間で5%、10億円程度の経常経費が増加している。主は社会保障関係費だが地道な経常経費削減に努力願う。一般会計補正は旧市民病院跡地の前倒し整備を評価。

舞鶴市議会における災害対応(暫定版)について

舞鶴市議会では、「舞鶴市議会における災害対応(暫定版)」について決定し、運用を開始しました。

これは、想定する災害のうち、原子力災害を除く災害に対する議会の対応を「暫定版」として決定したもので、今後、原子力災害への対応についても協議を進める予定としています。

関係団体の理解を

認定ことも園は保育教育のニーズに応えるもので、関係団体のヒアリングで私立保育園などへも理解を深められたと評価し、子育て環境の充実に期待する。

- ① 災害時の対応における基本的な考え方は、舞鶴市議会災害対策・支援本部(議会本部)
 - ② 舞鶴市議会災害対策本部
 - ③ 舞鶴市議会災害対策行動マニュアル(一般災害・震災対策共通編)
- 3 協議経過
議会運営委員会において、本年4月27日から協議を開始し、10月4日まで2カ所(大津市議会、鳥羽市議会)の調査視察と、11回の協議を行い、暫定版の決定に至りました。
- 4 決定および運用開始日
平成28年10月4日(火)
- ※この内容は、舞鶴市議会のホームページに掲載しています。

10月6日の本会議での議案採決結果は、次のとおりです。
 この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。
 この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しております。

全会一致で可決した条例議案

- 舞鶴市入札監視委員会条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例制定について

全会一致で可決したその他の議案

- 工事請負契約について（(仮称)西運動公園（その3）整備工事）
- 工事請負契約の変更について（舞鶴市環境衛生プラント建設工事）
- 人権擁護委員候補者の推薦について

全会一致で可決した意見書

- 次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書（案）

可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、認可…認定及び可決、採…採択、不…不採択、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

林三弘	山本治兵衛	今西克己	上野修身	岸田圭一郎	鯛慶一	福村暉史	眞下隆史	水嶋一明	和佐谷寛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	石束悦子	伊田悦子	小杉悦子	後野和史	亀井敏郎	田村優樹	松岡茂長	西村正之	議決をした日
創政	創政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	鶴翔	鶴翔	鶴翔	無会派	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	10月6日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日

☆舞鶴市議会の議員定数は 28 人です。

議案の採決結果

(平成 28 年 9 月定例会)
会期：8月30日～10月6日

全会一致で承認・可決・認定した予算 および決算議案

- 専決処分の承認を求めることについて（平成 28 年度舞鶴市一般会計補正予算（第 2 号））
- 平成 28 年度舞鶴市国民健康保険事業会計補正予算（第 1 号）
- 平成 28 年度舞鶴市簡易水道事業会計補正予算（第 1 号）
- 平成 28 年度舞鶴市介護保険事業会計補正予算（第 1 号）
- 平成 27 年度舞鶴市水道事業会計の決算の認定及び利益の処分について
- 平成 27 年度舞鶴市簡易水道事業会計決算の認定について
- 平成 27 年度舞鶴市土地建物造成事業会計決算の認定について
- 平成 27 年度舞鶴市貯木事業会計決算の認定について
- 平成 27 年度舞鶴市下水道事業会計決算の認定について
- 平成 27 年度舞鶴市駐車場事業会計決算の認定について
- 平成 27 年度舞鶴市後期高齢者医療事業会計決算の認定について



賛否が分かれた議案

議員名簿等（会派内は五十音順）		出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	伊藤清美	尾関善之	肝付隆治	桐野正明	高橋秀策	谷川眞司
								創政	創政	創政	創政	創政	創政
市長提出議案	平成28年度 舞鶴市一般会計補正予算(第3号)	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
	平成27年度 舞鶴市一般会計決算の認定について	28	27	23	4	0	認	○	○	○	議長は採決に加わりません	○	○
	平成27年度 舞鶴市病院事業会計決算の認定について	28	27	24	3	0	認	○	○	○		○	○
	平成27年度 舞鶴市国民健康保険事業会計決算の認定について	28	27	23	4	0	認	○	○	○		○	○
	平成27年度 舞鶴市介護保険事業会計決算の認定について	28	27	23	4	0	認	○	○	○		○	○

意見書、特別委員会の活動報告、編集後記、12月定例会予定

意見書

9月定例会では、「次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書」1件を可決しました。その内容は次のとおりです。

平成27年6月30日に閣議決定された「骨太の方針」の中で、次期介護保険制度改正に向けて、軽度者に対する福祉用具貸与等の給付の見直しを検討することが盛り込まれた。現行の介護保険制度による福祉用具、住宅改修のサービスは、高齢者自身の自立意欲を高め、介護者の負担軽減を図るといふ極めて重要な役割を果たしている。

例えば、手すりや歩行器などの軽度者向け福祉用具は、転倒、骨折予防や自立した生活の継続を実現し、重度化を防ぎ遅らせることに役立つ。また、

安全な外出機会を保障することによって、特に一人暮らしの高齢者の閉じこもりを防ぎ、社会生活の維持につながっている。

仮に軽度者に対する福祉用具、住宅改修の利用が原則自己負担になれば、特に低所得世帯等弱者の切り捨てになりかねず、また、福祉用具、住宅改修の利用が抑制され重度化が進展し、結果として介護保険給付の適正化という目的に反して高齢者の自立的な生活を阻害し給付費が増大するおそれがある。

よって、国におかれましては、次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しにおいては、高齢者の自立を支援し、介護の重度化を防ぐといった介護保険の理念に沿って介護が必要な方の生活を支える観点から検討を行うことを強く求める。

特別委員会の活動報告

原子力防災・安全等特別委員会

平成28年9月30日に、高浜発電所1、2号機の安全性について、原子力規制庁および関西電力(株)の担当者から説明を受け、質疑を行いました。

北陸新幹線誘致特別委員会

平成28年8月5日に委員会を開催し、7月28日から舞鶴市議会議員有志で市内各所において取り組みを進めている北陸新幹線京都府北部ルート誘致に係る街頭啓発について、本年4月以降に意見交換会を実施した舞鶴商工会議所女性会、舞鶴青年会議所、舞鶴自治連・区長連協議会の3つの団体に参加の呼びかけを行うことを決議しました。

編集後記

近年異常気象が続く中、次々に襲来した台風、秋の長雨などで被害にあわれたみなさんに心からお見舞い申し上げます。

さて、現編集委員での議会報編集作業はNo149をもちまして最後となりました。皆様が「手に取っていただき、読みたいくなる」表紙の写真選定。読んで「議会の様子がよくわかった」と思っていただけの原稿のチェック・校正等々編集会議で議論を重ね発行してまいりました。他市町村の優れた議会報も参考にさせていただき編集作業を重ねてまいりましたが、課題はつきません。今後も市民のみなさんに議会を身近に感じていただくため、「市議会だより」の充実に努めて参ります。ご覧になってのご意見・ご感想をお寄せ下さい。毎回のご愛読に感謝申し上げます。

(伊田悦子 副委員長)

【議会報編集委員会】

委員長	上野 修身	副委員長	伊田 悦子
委員	肝付 隆治	委員	杉島 久敏
委員	田村 優樹	委員	眞下 隆史

12月定例会予定

11月

29日(火)本会議(開会)

12月

5日(月)請願受理締切
 8日(木)本会議(一般質問)
 9日(金)本会議(一般質問、質疑)
 12日(月)予算決算委員会分科会・常任委員会
 13日(火)予算決算委員会分科会・常任委員会
 19日(月)予算決算委員会
 26日(月)本会議(閉会)
 ※予定は変更することがあります。

